

「君がいないとダメなんだ」 と言われたい？



今回のテーマは、「共依存」です。みなさんは、「共依存」という言葉を聞いたことがありますか？あなたは、親子関係、恋人関係、友人関係などで、「相手に必要とされること」にのみ自分の存在意義を見い出してしまっていないですか？

それって「共依存」なのでしょうか。

「共依存」は本当に悪いことなのか？「共依存」だと思っても「離れたくない」場合にはどうすれば良いのか？『共依存の倫理』（晃洋書房）の著者、小西真理子さんと一緒に考えます。

演題：**共依存と社会問題**

「離れたくない」という声にいかに向き合うか

日時：**2018年12月14日（金）**
2限目（11：05～12：35）
10：50開場 ※申込不要

場所：**南山大学B11教室**

対象：**南山大学に所属する大学生・大学院生**



講師：**小西真理子氏**（こにし・まりこ）
（大阪大学大学院文学研究科講師）

2014年立命館大学大学院先端総合学術研究科一貫制博士課程修了。博士（学術）（立命館大学）。専門はケアの倫理。共依存をテーマに研究を行う。

企画・コーディネータ：**森山花鈴**
（南山大学社会倫理研究所）

妊娠・出産の話や、環境問題、労務問題など、社会には通常の授業では学びきれない課題がたくさんあります。そのため、本セミナーでは、社会人になる前に知っておいた方がよいこと・考えておいた方がよいことを、各分野の専門家がわかりやすく解説し、さらに参加者のみなさんとのトークセッションを通じて議論します。